

2020 物流 TDM 実行協議会（第 3 回総会） 議事要旨

日時：令和 3 年 1 月 14 日（木）15 時から 16 時まで

場所：東京都庁第一本庁舎 33 階 B 会議室

方式：対面及び「Microsoft Teams」によるリモートの併用

1 開会

2 報告事項

（1）委員による情報共有

- ・ 業種問わず、多く企業がコロナの影響を受けている。特に、今回の緊急事態宣言によって飲食業界等はさらに厳しい状況。
- ・ TDM について、物流の観点のみならず、中小企業のテレワーク等も含め、大会の状況を踏まえながら、時期や方法を検討していきたい。
- ・ どの業界においても、BtoB から BtoC への商流の変化というのが大きい。これらを踏まえ、物流 TDM の理解促進が必要。
- ・ 商店街は、小売物販業、飲食、サービス業の 3 つの業種で構成。特に飲食、小売りについては、非常に厳しい状況。閉店、廃業に追い込まれており、存続が危機的な商店街も多い。
- ・ このコロナ禍において、企業や個人事業主からの相談を多く受けているが、助成金や融資で売上の減少をカバーしたいという相談が多い。
- ・ オリパラも含め、ビッグイベントが中止や延期になった影響で、イベントに出演している個人事業主、イベントの貸し出しスペースの提供事業者等への影響が大きい。
- ・ コロナ関係の様々な助成金事業を行っているが、申請件数が非常に多い。

（2）議事に関する主な意見等

- ・ 物流の効率化については、大会の有無に関わらずやっていかなければならない課題だと認識。接触機会を減らすというワードがこれからの物流対策にも必要。
- ・ 現在は、コロナ禍による経営課題に意識が向いているので、大会に向けては、中小企業の状況や意見等を把握することから始めるのが重要。
- ・ 今後、接触機会の削減やソーシャルディスタンスの確保等の観点を含めて考えていただければと思う。

3 審議事項

- ・ 「今後の物流 TDM の活動に係る業務委託」について、各委員より了解を得た。

4 閉会